

## 元内務技監 原田貞介博士逝去さる

我が土木學界の大先輩の一人たる原田貞介博士は九月三十日山口縣長府町の自邸に於て腦溢血の爲逝去された。享年七十三歳である。博士逝去の報傳はるや在京の先輩及舊交會(内務省土木勅任技師の會)等に於ては弔問の代表者を出して告別式に列する事となつた。

原田博士は山口縣の人で、明治十六年東京大學の工科在學中に、有名なる學生のストライキに捲込まれて退學し、自ら獨逸に留學して土木工學を修め、六年後優秀なる成績を以て業を終へ、明治二十四年内務省に入り、大正十年内務技監を辭するまで實に三十餘年間我國の土木技術の爲に貢獻された功績は甚大なるものがある。

特に初代内務技監沖野博士の下にあつて淀川改修工事に參蒞し、名古屋土木出張所長としては木曾川改修工事に、下關土木出張所長としては關門海峽の改良計畫等に努力し盡された。大正十年には土木學會長に推舉され、土木學會の會合等には山口縣より度々上京出



席されたものである。

博士は又獨逸より玉突を輸入された元祖である、玉突と喫煙以外は讀書を唯一の趣味とされる温厚なる人格者であつた。博士は正三位勳二等錦鷄間祇候である。國家非常時に際し斯かる大家を失ふ事は今後の大局上にも影響して痛惜に堪へない次第である。

### 廣井博士墓參會

十月一日は故廣井博士の十週年に當り、例年此日を以て墓參會を催せる故博士の知友及門下生其他博士の遺徳を慕ふ人々は、同日午前八時半郊北の多摩墓地に集合し、秋雨そぼふる博士の墓前に參拜した。

尙博士の御遺族綱子未亡人は御健在の由にて、當日は久保田敬一博士が廣井家を代表して一同に挨拶をされた。因に當日の午前中の參拜者は次の諸氏である。

名井九介	伊藤長右衛門
吉村惠吉	平山復二郎
小川襄亮	松尾末太郎
眞島健三郎	土井良太郎
樺島正義	平井喜久松
高橋嘉一郎	青山士
谷口三郎	杉本好太郎
阿部美樹志	關毅
岡崎保吉	池邊稻生

廣井家  
久保田敬一